

中国高等教育機関における知的財産に対する取組み

○山岸大輔¹、佐々木茂雄¹、加藤 優¹、崎原麗霞²(鳥取大学 産学・地域連携推進機構 知的財産管理運用部門¹、国際交流センター²)

1. はじめに

中華人民共和国（以後、「中国」と言う。）においては、著しい経済発展を遂げており、世界第2位の経済大国として確実に発展している。また、生産技術力の向上とともに先端的な科学技術の研究開発と応用が進むにつれ、それら科学技術に関する様々な施策が国レベルで打ち出されており、北京大学や清華大学等の一部の科学技術志向型の総合大学では企業と連携したイノベーション創出活動が活発に行われている。さらに、科学技術の持続的な展開を促進する法令化や知的財産に係わる立法化が次々と図られ、今後中国の科学技術のイノベーションや知的財産権が中国企業における事業活動に貢献する大きな役割を果たすことが予想される。そのような状況で、中国全土にある多くの地方国立・省立大学や公共試験研究所等における知的財産への取組み実態を調査し、大学等に向けた知財戦略、取組みについてどのような影響があるか明らかではない。前回、知的財産関連法を踏まえた中国高等教育・研究機関における知的財産活動を把握する取組みについて報告した（第8回産学連携学会大会）。今回、中国高等教育・研究機関における知的財産活動について、アンケート調査を実施した結果を報告する。

2. 調査方法

中国高等教育・研究機関における知的財産活動の実態を把握する手段として、鳥取大学と教育・研究に係わる連携契約を締結している主な中国の大学および国の研究機関を対象に、アンケート調査および現地でのヒアリング調査を実施した。

(1) アンケート調査

アンケート調査は、以下に示すように、知的財産に関する教育・情宣、管理・運用、体制、実績（出願・登録、活用）について、書面にて対象機関に依頼実施した。

- ①中国が2008年6月に発表した「国家知的財産権戦略要綱」の中で、大学にとって有益と考えられる知的財産権制度内容はどのようなものがあるか？
- ②本学において、教職員を対象とした、例えば知的財産取扱規程等の規則（ルール）等は設けられているか？
- ③本学において、知的財産権に係わる教職員の意識・知識はどのような状況にあるのか？
- ④本学の知的財産に係わる学生教育の実態はどのような状況にあるのか？
- ⑤本学の知的財産に係わる管理運用はどのような状況にあるのか？
- ⑥知的財産を管理・運用するため、どのような体制・組織か？
- ⑦従事している教職員は何人か？
- ⑧年間の特許・実用新案の出願件数や登録件数の実績は（国内および海外）は何件か？
- ⑨特許出願実績の多い研究分野は何か？
- ⑩特許・実用新案以外の知的財産権の出願・登録の実績は何件か？
- ⑪企業との共同出願の実績（国内および海外）は何件か？

表1 アンケート・ヒアリング対象大学

	A大学	B大学	C大学	D大学	E医科大学	F医科大学
教員数	1,100	1,500	1,000	-	960	850
学生数	20,000	28,000	26,000	-	11,000	13,000
学部数	18	23	13	12	25	16
分野	農業	総合	農業	総合	医学	医学

3. 調査結果

アンケート・ヒアリング対象大学は、中国が指定している国家重点大学3校および医科大学2校を含む6校に対して行った(表1)。

アンケートの結果とついて、得られた回答を図1にまとめた。政策に関して、中国が2008年に発表した「国家知的財産権戦略要綱」において、大学に有益な制度が含まれていると回答した大学は4校であった。具体的な制度としては、大学での知的財産カリキュラムの開設による知的財産教育の強化、および出願費用に対する減免処置等が挙げられた。この政策によって教育面で充実していることが示唆された。知的財産取扱規定に関しては、ほとんどの大学で職務発明規定が策定されていた。また、ヒアリングによって、知的財産管理運用体制では、3校の大学で、専任の大学職員による出願、権利化等の業務を行っていた。なお、管理業務に関しては、全ての大学において特許事務所に委託するか各々の発明者による管理していることが明らかとなった。

Q1 大学に有益な制度の有無		
	ある	4
	ない	1
	不明	1
Q2 知的財産取扱規定等の規則の有無		
	ある	4
	ない	1
Q3 知的財産権に係わる教職員の意識・知識		
	非常に高い	0
	高い	0
	普通	5
	低い	0
	非常に低い	0
Q4 知的財産に係わる学生教育の実態		
	非常に充実	0
	充実している	3
	どちらともいえない	2
	あまり行われていない	0
	全く行われていない	0
Q5 知的財産に係わる管理運用の状況		
	非常に充実	0
	充実している	4
	どちらともいえない	2
	あまり行われていない	0
	全く行われていない	0

図1 アンケート調査の結果

4. おわりに (今後の課題)

今後は、今回のアンケートおよびヒアリングの結果を分析し、現時点における中国高等教育・研究機関における知的財産活動の実態把握を行い、本学と連携関係にある中国大学および公共試験研究機関などとの共同研究や共同出願のあり方に反映させることを検討する。さらに、中国の科学技術政策の一環として、大学等をはじめ中国の知的財産活動が活発化していることから、今回のアンケートおよびヒアリングの結果では中国高等教育・研究機関の知的財産活動を充分把握できないことが予想されるため、中国高等教育・研究機関の知的財産活動に係わる実態調査を今後も継続的に実施する方法を検討する。